



みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日 9月23日手話言語の国際デー

ライオン逃げた

熊本大地震の教訓 危機管理・情報管理

2016年4月14日、16日に震度7の地震により、29 獣舎の 8 割が被災、1929 年開園以来の大惨事に見舞われた。アスファルトはめくれ、地面は液状化、上下水道管の破裂。

直下に断層が走っていたのではないかと(後日確認された)。

4月14日21時半過ぎ、インターネット上で「動物園からライオンが逃げた」という情報が拡散した。近くに避難所があり、避難する人が恐怖感を持った。動植物園では職員2名が、翌日午前中まで200件の「ライオンは逃げません」とデマを打ち消す対応に追われた。

停電は起きず、23時30分までに動物の脱出なく、死亡個体無しの確認が終了した。その後でスタッフ100人の安否確認をSNS(LINE)で行った。



大災害に備える
防災講演会

熊本動植物園 松本獣医師

全面開園までの2年8か月

(1/10)



引越し作戦 2016年4月22日

4月16日の地震で動物園のライフラインが途絶した。特に水とエサの確保、停電で下水ポンプが使えないという状態になった。獣舎の破損も増大したため、やむなく大型の猛獣を、日本の動物園史上初めて福岡県3か所・大分県1か所へ避難させることにした。アムールトラ、ユキヒョウ2頭、ウンピョウ、ライオン。松本さんは移動させたくなかった。



引越しは人間よりもストレスを受ける。出したら戻ってこないのではないかと危惧したため。日本動物園水族館協会の手配してもらい4月22日に避難させた。その後、獣舎等の災害復旧を行い、2018年10月22日~23日に帰還した。ライオンはお嫁さんを連れてきた。これ以来、動物園間のコミュニケーションが格段に良くなった。



全面開園 2018年12月22日

地震から断水対策の水くみや復旧事業と合わせ、熊本市の職員として建物調査や避難所運営にも携わったが、園にお客さんが来ないのが一番つらかった。動物園は必要とされているのか、意義はあるのか、自問自答の毎日であった。

6月からは避難所でのふれあい移動動物園を行って、子どもたちの笑顔に会った。子どもは動物や自然との触れ合いを待望していた。動物園はそんな子どもたちの気づき、学び、自然への入口であるとの役割を再認した。

地震から10か月後に一部開園、徐々に拡大していき2018年12月22日全面開園となった。

猛獣舎はガラス張りにして接近して見られるように工夫した。

動物園は、子どもが一生涯に一度は訪れ、野生・自然への興味や気づきの場である。娯楽施設ではなく、人々の暮らしに必要な公共施設であることを再確認した。

日本動物園水族館協会では、阪神・淡路大震災を機に災害部会で連絡体制、備蓄、訓練により災害に強い園作りに全国ネットワークでの取り組みを強化している。



シリーズ (15)

山口相談医のひと言コメント

補聴器の医療費控除について



ご存じの方も多いと思いますが、補聴器の購入費用の医療控除申請に関して、統一された方針が提示されました。

まずは明細書を提出することに始まり、税務署の要請に応じて領収書などを提出することになります。補聴器の場合はこれに加えて、「補聴器に関する診療情報提供書 2018」という書類が必要です。

今までは耳鼻科を受診せずに購入されている方も多かったのですが、そのような方々は原則として医療控除申告が受け付けられないこととなります。「補聴器に関する診療情報提供書」そのものにもいくつか必要事項があります。

まず、補聴器の購入先は、認定補聴器専門店であるか、認定補聴器技能者が在籍している店舗でなくてはなりません。また、この書類は、耳鼻科医であれば誰でもいいわけではなく、補聴器相談医が書く必要があります。中には、「書いてもらうことなく買ってしまった。これから書いてもらおう！」という方もあると思います。しかし、各条件を満たしていても、書類の日付と領収書の日付が前後していたら、原則として申告が受け付けられないことになっています。

どこまで控除額を認めるかなど詳しいことは各税務署の判断になります。申告を検討される方は、国税庁のホームページや税務署で確認してみてください。

(なお補聴器の確定申告については、今後も改定があると思われるので、ご注意ください。)

快挙



手話通訳士 2名合格



村田 三枝さん



富田 芳郎次さん

第30回手話通訳士の合格発表があった(1/31)本県からは、8名が受験、2名(合格率25%)が合格した。昨年に続く快挙。全国で1,105名が受験し、108名(合格率9.8%)が合格。合格率は全国トップ。手話学習者にとっても大きな励みとなる成果です。

みみサポーター養成講座 (2/23)

1月19日から全3回の講座は2月23日修了します。聴こえの仕組みや難聴者の体験談、聞き取りやすい環境設定などを学びました。

佐賀市要約筆記教室 (2/10)

12月2日から全8回のパソコン要約筆記教室が修了。10名に修了証書が授与されました。



インフル猛威 200万人超

全国的に大流行。今シーズンはA型の2タイプのウィルスが同時流行。

特に、高齢者や子供の感染が多くなっています。手洗いやマスク着用を



徹底し、具合が悪い時は早めの受診が大切です。



編集後記：花粉症の季節ですね

唐津市、伊万里市から聴覚障害者も住民参加。それぞれ、上峰中・鹿島小へバスで避難。地元の吉野ヶ里、鹿島手話サークルが避難所で合流しました。

原子力防災実動訓練 2/2

阪神淡路大震災から25年前日の1月6日にテスト送信をしました。同日中の回答率は19%、翌日は21%で少々危機感が希薄な状況でした。



安否確認システム

熊本県和水町が震源地。震源の深さは約10キロ、マグニチュード4.3。和水町では震度5弱。1月3日にも同町で震度6弱の地震がありました。



1月26日佐賀市震度3観測

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12 (佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/



<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日